

省工ネ冷熱装置普及へ

伊キヤレル社製 日本販社が発足

【福岡】柴田榕接工作所（福岡市、柴田勝紀社長）とイタリアのCAREL（キヤレル）社が今年1月に立ち上げた合弁会社「CAREL Japan（株）」（福岡市、柴田勝紀社長）の発足式が23日、タカクラホテル福岡であった。冷熱機器メーカーや水産関係者をはじめ国内外の取引先関係者170人が出席、新会社の船出を盛大に祝った。

式に国内外から170人

キヤレル社製品の日本での販売と製品開発を担うCAREL Japan消費する冷熱設備にとつ



あいさつする柴田勝紀社長（右）と、キヤレル社のナリーニCEO

て電力料金の値上げは厳しいものがあるが、キヤレル社の技術力をもってすれば安定した運転と10%の省エネが可能だ」とし、「現在の日本が置かれた電力需要に

ト。ルイジナリーニCEOは「当社の統合され最適化された制御システムにより食品冷蔵や空調、電力消費、照明などの省

エネとコスト削減が可能。例えば、水産業でも魚の急速冷凍と保存のための当社産業冷凍アプリケーションによって冷凍ユニットの省エネができる」とし、「最先端の制御システムの研究をさらに進め、お客さまと強力なパートナーシップを築

き、ビジネスの成功に貢献している」と述べた。

来賓で日本イトミックの伊藤大貴社長、福島工業の福島亮専務、太田P・E・技術士事務所の本田育秀所長、イタリア会館のドリアーノ・スリス氏、和久魚問屋の阿部幸彦社長が祝辞を披露し、大日本水産会の重義行専務が乾杯発声。閉会宣言でキヤレル社のルイジ・ロッシルチアーニ会長は、皆さまから多くを学ぶとともに、新たな技術ソリューションの開発に寄与できると考える。相乗効果を確信している」と述べた。同日は新社屋ショールームの内覧会もあつた。

「電力1割削減可能」柴田社長

た電力需要に對し、われわれは何ができるか。日本は省エネ技術に長けているが、さらに前に進むことができない。それを全国に広めるために新会社を立ち上げた。ぜひ、われわれがお伺いした際はよろしくお願ひします」と強調した。



石に産み付けられたふ化直前のシロウオ卵

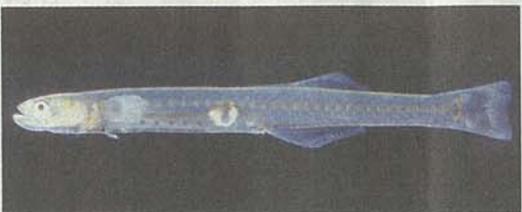
シロウオが大量産卵

山口・萩市 松本川下流 新造成の産卵場で

県が確認

【山口】山口県水産研究センター外海研究部は、萩市の松本川下流に今年

2月新たに造成されたシロウオ産卵場で大量の産卵を確認した。1平方メートルあたり1万1700粒で、同部の過去20年間の調査の中で2番目に多く、「産卵場の造成効果が表れた」と考えられている。



シロウオ

同部では、秋の春の風